

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれるまち
 基本施策 : 06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 田村真弓、保険年金課長 田沼政司、地域包括支援センター所長 滝田律子、健康づくり政策課長 正木賢、地域福祉課長 熊谷和久、生活福祉課長 齊藤明德

1. 基本施策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

第1次滝沢市総合計画では、「幸福感を育む環境づくり」を目指すこととしています。市民が幸せを考えるうえで最も重要な要素は「健康」です。市民が幸せを感じながら笑顔で暮らすためには、「心身の健康」は大切な条件の一つであり、病気や障がいがあっても個々の考える健康の実現は、その人らしく豊かな人生を送るために重要です。市民一人一人が健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組めるような環境を目指します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援体制づくりや取組みの推進を図ります。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	C
			60.7	59.6	-	-	-	33.3
2	幸福 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位	61.3	60	61.5	63	65	65	D
			62.7	58.9	-	-	-	△64.9
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02060100 望ましい生活習慣の定着 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	C
			60.7	59.6	-	-	-	33.3
2	幸福 02069000 【2-6 基本施策目標値入力用】 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位	61.3	60	61.5	63	65	65	D
			62.7	58.9	-	-	-	△64.9
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

基本施策：06 健康づくりを支える保健の充実

主管課長職・氏名	健康推進課長 猿舘睦子
関係課長職・氏名	児童福祉課長 田村真弓、保険年金課長 田沼政司、地域包括支援センター所長 滝田律子、健康づくり政策課長 正木賢、地域福祉課長 熊谷和久、生活福祉課長 斉藤明徳

2. 基本施策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>・保育園等への塩分測定器貸出による減塩等の良い食習慣の意識付けや地域の連絡会等で機会を捉えて健康づくりのための知識や生活習慣について啓発を行いました。・各がん検診については、コロナ禍による受診控えの影響により受診率が低下しました。・保育園と連携した食育推進事業や企業の健康づくり事業を通じて、若い世代が健康づくりに取り組む動機付けにつながりました。・思春期にある児童生徒に対して思春期保健事業を実施し、命の大切さや健全な母性父性を育むための働きかけを行いました。妊娠期には、妊婦健診に対する助成事業において経済的支援を行うとともに、両親学級や妊婦教室を実施し、健やかに産後を迎えられるよう努めました。育児期においては、子育て世代包括支援センターを中心に、家庭訪問や乳幼児健診、育児支援事業を継続し、産婦健康診査や産後ケア事業の実施に向けて検討・準備を行いました。</p>	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】高血圧予防や重点取組である6つの行動指針の啓発、壮年期の若い世代への健康教育の実施、子育て世代包括支援センターの円滑な運営、産前産後の支援についての検討</p> <p>【達成状況】地域健康づくり連絡会等機会を捉えて高血圧予防や健康づくりの行動指針の啓発を行い、一人一人の健康づくりの意識を高めました・保育園と連携した食育推進事業や事業所の健康づくり事業を通じて、若い世代が健康づくりに取り組む動機付けにつながりました。子育て世代包括支援センターの支援体制の強化に努めました。産前産後の支援については、他市町村の取組みの情報収集や視察を行い、実施に向けて検討・準備を行いました。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和 2年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対策の実施 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況により、事業実施の検討 ・超高齢者社会を見据えた若い世代からの健康づくりの必要性 ・健康課題の多様化 ・未婚や若年妊婦等、リスクを抱える妊婦が増加傾向にあり、産婦健診や産後ケアの必要性が増大 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>政策「健やかで笑顔にあふれるまち」の実現のため、当該施策の継続が必要であるため、見直しの必要はありません。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の健康づくり意識を高めるため、引き続き、機会を捉えて健康づくり宣言の6つの行動指針の啓発につとめ、健康づくりに取り組みやすい環境を整えます。 ・各種検診の受けやすい環境づくりに努めます。 ・支援が必要な妊産婦、乳幼児家庭の課題が複雑化、多様化しており、妊娠期からの切れ目ない支援体制を強化する必要があります。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検診の効果的な受診率向上に向けた取組 ・産後ケア事業の準備、実施 	

